

インターネット配信

全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会

本年度はライブ配信講義が中心となります
開催日時にご注意ください



ライブ配信 6プログラム

令和4年 1月12日(水)～1月14日(金)

オンデマンド配信 2プログラム

令和4年 1月11日(火)～2月28日(月)

令和2年度プログラム再配信(8プログラム) 令和4年1月11日(火)～2月28日(月)

無料

事前申込

字幕付き

申込み受付期間:令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)

公益社団法人全国公立文化施設協会ホームページからお申込みください。

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

● オンデマンドプログラム (配信期間1月11日～2月28日) ●

● 特別企画 「コロナ禍から再生に向けて」

令和3年6月、全国公立文化施設協会の会長に野村萬斎氏が新たに就任いたしました。狂言師として、数多くの狂言・能の公演で全国各地の公立文化施設を巡られた経験と2002年より20年近くに渡り世田谷パブリックシアターの芸術監督を務め、また2021年からは石川県立音楽堂の邦楽監督も務めるなど、劇場の自主公演や運営にも携わった経験を持たれています。全国の劇場・音楽堂等は新型コロナウイルス感染症により、施設の一時閉館や自主公演の中止、貸館のキャンセル等により、これまでにない厳しい環境に置かれています。このような状況の中で、表現者としての想いや、芸術・文化の意義、劇場・音楽堂等が地域に向けて果たすべき役割などお話しさせていただきます。



[講師] 野村萬斎 (狂言師・(公社)全国公立文化施設協会 会長)

● 人材養成講座

我々が日々仕事を進めるためには「研修する」「勉強する」ことによって課題を遂行しています。一定の目的を果たすためには、必要なスキルを身に付ける必要があると言われていています。一般的に「スキル」とは「知識」「技能」「経験」「資格」つまり仕事に対応する能力といわれていますが、私達の仕事の遂行には不十分で、ものの見方や感じ方、考え方を学ぶことが必要だと思えます。

平成26年に「劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト」を策定してから時が過ぎました。この間「文化芸術基本法」の改訂や「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」など、わたくしたち劇場・ホールに働くものに関連する法律等が公布され「劇場・音楽堂等」には期待が寄せられています。

この講座は劇場に就職して3年以内の職員を対象に「基礎編」としてまとめました。今回「劇場・音楽堂等の概要、使命と役割」と「事業運営の概要と危機管理」の2章構成としました。運営責任者の方をはじめ、すべての職員の方に受講していただき、劇場・音楽堂等が地域の文化拠点として運営されることを期待します。職員の皆様全員で受講し意見交換をする、またはグループで受講するなどの工夫をして、ご活用いただければ幸いです。(各60分程度)

第1章 文化政策と劇場・音楽堂等

[講師] 柴田英紀 ((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

第2章 劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応

[講師] 間瀬勝一 ((公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)

● 令和2年度 全国アートマネジメント研修会プログラム再配信 (配信期間1月11日～2月28日) ●

昨年度実施したプログラムを再配信いたします。昨年度ご覧いただけなかった方はもちろん、振り返りにもご視聴ください。(各90分)

プログラムの内容・講師等は令和2年度募集要項をご覧ください。

https://www.zenkoubun.jp/training/pdf/r02_art/boshu.pdf?04

講師・モデレーターの写真等は収録しました令和2年2月現在となります。資料は配布いたしません。ご了承ください。

● 事業企画

劇場・音楽堂からのオンライン配信の試みと今後の可能性

[講師] 山中隆 ((公財)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール理事長兼館長)
竹内淳 ((公財)川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール 事業部長)
山川愛 ((公財)かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ マネジャー)
[モデレーター] 草加 叔也 ((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● 文化政策

文化ホールの現場から問い直す自治体文化政策 —財団、指定管理者の視点から—

[講師] 砂田和道 (くらしに音楽プロジェクト 事務局長)
[講師・モデレーター] 中川幾郎 (帝塚山大学名誉教授)

● 文化政策

法の制定と文化施設の役割を考える —「令和2年度障害者文化芸術活動推進に向けた 劇場・音楽堂等取組状況調査」結果から—

[講師] 大澤寅雄 ((株)ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員)
岸本匡史 ((公財)としま未来文化財団 事業本部 としま区民センター・野外劇場
運営課長)
[モデレーター] 間瀬勝一 ((公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)

● 事業企画

公立劇場と民間劇場等との連携を通じたダンス公演の 可能性を考える

[講師] 唐津絵理 (愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー・Dance Base Yokohama
アーティスティックディレクター)
林慶一 (d-倉庫 プロデューサー)
[モデレーター] 木全義男 ((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● 事業企画

舞台芸術のデジタルアーカイブ化の意義と著作権上の課題

[講師] 福井健策 (骨董通り法律事務所 代表パートナー)
[講師・モデレーター] 太下義之 (同志社大学教授)

● 管理・運営

公立文化施設で必要とされる契約

[講師] 望月賢司 (望月賢司法律事務所 弁護士)
[モデレーター] 矢作勝義 ((公財)豊橋文化振興財団 芸術文化プロデューサー)

● 管理・運営

新型コロナウイルス感染拡大長期化に於ける文化施設の今後

[講師] 本間基照 (MS&ADインターリスク総研 (株) リスクマネジメント第一部 災害リスク
グループ マネジャー上席コンサルタント)
橋本恭一 (福井県立音楽堂 (ハーモニーホールふくい) 事業部長・プロデューサー)
[モデレーター] 岸正人 ((公社)全国公立文化施設協会 事務局次長)

● 事業企画

感染症との共生を超えて—公立劇場と芸術団体の取組から—

[講師] 福島明夫 ((公社)日本芸能実演家団体協議会 常務理事)
大久保充代 ((公財)八尾市文化振興事業団 業務執行理事 八尾市文化会館
プリズムホール館長)
[モデレーター] 柴田英紀 ((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● ライブ配信プログラム (スケジュール日時のみ視聴となります) ●

時間は前後する場合があります。質疑応答の時間を含みます。

10:00~12:00

14:00~16:00

1/12
(水)

●文化政策

ウイズコロナ下における文化芸術団体との連携に向けて

コロナ禍の終息が見通せないなか、公立文化施設では当面は引き続きの感染防止策を講じつつ、公演等の事業や貸館等を計画・実施せざるを得ません。そんな状況下においては、これまで以上に地域の文化団体や劇団・楽団等の芸術団体との連携が必要とされます。

コロナ禍で文化施設同様に大きな打撃を受けた文化芸術団体をお招きし、「コロナ禍における文化芸術への影響調査(文化芸術推進フォーラム)」や「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査(公文協)」の速報、文化庁令和4年度予算等を紹介しつつ、今後の対応や展開、そして連携についてともに考えます。

[講師] 福島明夫((公社) 日本芸能実演家団体協議会 常務理事)
桑原浩((公社) 日本オーケストラ連盟 専務理事・事務局長)
[モデレーター] 岸正人((公社) 全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長)

●管理・運営

コロナ禍を踏まえ、将来に繋がる公立文化施設の運営と事業企画と、それを実現するための制度、組織、戦略について

様々な課題が浮き彫りになった現代社会において、新型コロナウイルス感染症が終息した先に劇場運営はどのようにあるべきか。また、その運営を達成するために必要な劇場事業とは何か。イギリスなどの海外の事例を参考にしながら今日的な課題・要請と地域的な課題・要請の両方側面から考える。そして、それらを実現するために、制度(助成・寄付・チケット等資金調達)、組織(専門人材の育成・雇用)、戦略(目標)といった観点から何が必要かを検討する。

[講師] 石田麻子(昭和音楽大学教授 学長補佐)
[モデレーター] 矢作勝義(穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー)

1/13
(木)

●管理・運営

劇場・ホールの換気・空調設備について

建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)によって、室内環境の衛生的向上が図られてきたとされていますが、一方で基準値に満たない建築物がまだ多くあることも指摘されています。そうした中、コロナ問題が重なり、劇場やホールにおける空調・換気設備などによるコロナ飛沫感染リスクを心配されている方も少なくないと思います。

新国立劇場ではいち早く舞台・客席内並びに各リハーサル室における換気状況の現状把握のための調査を実施しています。調査を実施された粒子計測に関する専門家奥田知明教授からその内容を報告してもらいます。また、同劇場建築設備設計者でサントミュージゼ上田並びにフェニーチェ堺も設計された金澤隆司氏・吉川佳江氏(サントミュージゼ上田の建築設備設計担当)から劇場・ホールにおける空調・換気設備の考え方を聞くことで、施設設置者・管理者が留意すべき事柄について考えてみたいと思います。

[講師] 奥田知明(慶應義塾大学理工学部応用化学科教授)
金澤隆司((株) 梓設計 顧問(非常勤) 元(株)柳澤孝彦+TAK建築研究所 代表取締役)
吉川佳江((株) 梓設計 エンジニアリング部門機械システム部)
[モデレーター] 本杉省三(劇場計画研究者 工学博士・日本大学 名誉教授)

●事業企画

障害者文化芸術活動の推進に向けて踏み出す初めの一步～障害を超えて、共感、共生に向かうために～

令和2年度に実施した「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調」によると、「障害者を対象とした自主事業を実施していない」86.5%。その理由は「どういう事業を実施したらいいかわからない」41.7%、「実施するための知識のある人材がいない」40.1%となっています。社会の構成員である障害者、社会的弱者。共に生きる仲間として共感し、共生へ向かう意識を醸成していくための初めの一步をどこから始めたらいいのか。

地域に根指し多岐にわたる活動を展開し、障害者と健常者が協働して作り上げる舞台製作を続ける鳥の劇場の芸術監督中島諒人氏と、障害者とアートと市民を繋ぐ先駆的な事業を展開し続けるNPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事の柴崎由美子氏を講師に迎え共に考えます。

[講師] 中島諒人(鳥の劇場 芸術監督)
柴崎由美子(NPO法人エイブル・アート・ジャパン 代表理事・事務局長)
[モデレーター] 水戸雅彦(えずこホール(仙南芸術文化センター) 前館長)

1/14
(金)

●管理・運営

劇場・音楽堂等職員の労務管理を考える

舞台芸術作品を制作する劇場の現場では、職員の労務管理への対策が喫急の課題となっている。中でも労働時間の管理は、舞台芸術作品を創造する現場を抱える劇場にとって看過できない状況になることが顕在化してき始めてきている。もちろん、全ての課題を解決できる手法や手続きが確立されるに至っていないわけではないが、努力や試行錯誤が積み重ねられてきている。今回のアートマネジメント研修会では、創造現場における労務管理の課題解決に向けた具体的試みについて考えていきたい。

[講師] 堀内真人(神奈川芸術劇場事業部長 兼 技術監督)
松下洋章(世田谷文化生活情報センター副館長)
内藤美奈子(東京芸術劇場 事業企画 課長)
[モデレーター] 草加叔也((公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー)

●事業企画

●文化政策

事業が目的化しない企画立案の方法 —優秀事例から学ぶ—

ミッションの重要性が叫ばれて20年が経ちます。ミッションとは、寄付行為の目的にある抽象的な文言を超えて、国民にわかりやすく伝える我々の行動規範であり、公立劇場の社会的な存在意義を示すものです。従って、事業企画は、自らの劇場ミッションを達成するためにあるということに改めて考えてほしいという講座です。

明確なミッションのもとに目標を設定し事業推進している千葉県と川崎市の取組を紹介し、その事例に学びます。事業が独り歩きして目的化していませんか?

[講師] 糸日谷智孝((公財) 千葉県文化振興財団 文化振興グループ 千葉県少年少女オーケストラ運営グループ)
藤田千史(川崎市アートセンター プロデューサー)
[モデレーター] 柴田英紀((公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー)

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

主 催：文化庁 / 公益社団法人全国公立文化施設協会

目 的：劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対 象：劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等

配信（開催）期間：

ライブ配信 令和4年1月12日（水）～ 1月14日（金） 6プログラム

オンデマンド配信 令和4年1月11日（火）～ 2月28日（月） 2プログラム

令和2年度プログラム再配信 令和4年1月11日（火）～ 2月28日（月） 8プログラム

受講申込：令和3年12月15日（水）～ 令和4年2月28日（月）

※**ライブ配信**につきましては、**配信前日までの申し込みが必要です**。ご注意ください。

公益社団法人全国公立文化施設協会ホームページからお申込みください。

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

お申込みの後、視聴ホームページのURLとパスワードをメールでお送りします。

参 加 費：無料

企画委員：草加叔也 柴田英紀 水戸雅彦 矢作勝義

企画・制作：公益社団法人全国公立文化施設協会

[ご注意]

- ・お申込み時にご記入いただいたメールアドレスは、当事業に関する連絡の他、今後の事業案内等に使用させていただく場合がございます。
- ・プログラム内容、講師は変更になる場合がございます。また、各プログラムの配信時間、所要時間は前後する場合がございます。
- ・ネットワークの回線状況や視聴者側の環境により、再生が出来ない場合や画面、音声が不安定になる場合があります。ご了承ください。
- ・ライブ配信プログラムは、再配信等の予定はありません（ライブ配信のみとなります）。日時などご注意ください。
- ・ライブ配信では、リアルタイム字幕を予定しています。配信映像とのずれや、映像再生部分など字幕が表示できない場合が想定されます。ご了承ください。
- ・令和2年度プログラムの再配信については、資料は配布いたしません。ご了承ください。
- ・講義資料及び配信映像の録画・録音・撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。

問合せ先

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階

tel 03-5565-3030 fax 03-5565-3050

e-mail art@zenkoubun.jp